

意見の概要と市の考え方

- ・すべてのご意見に対し、当市としての前提となる条件をお示しします。
- ・【管理運営】【イベント・企画】【情報発信】につきましては、従来市直営であったところ、指定管理者制度を導入し、民間事業者が有する営業・経営センスにより、積極的かつ持続的な取り組みを生む施設としたいと考えています。
- ・新たに設置する【カフェ】についても、先述のとおり、指定管理者制度の導入により、来館者に求められるスペースとしたいと思えます。
- ・既存【1階レストラン・売店】については、当市が民間事業者に対し、テナントとして貸し付けていることから、直接ご意見等反映できないことをご了承いただきたいと思えます。ただ、いただきました貴重なご意見については、当該民間事業者に情報共有させていただきます。
- ・【スマートインターチェンジ(IC)】については、当市として継続的に検討を進めておりますが、具体的な方向性は未定です。

No.	意見の概要	市の考え方
1	・地元の小松町の紹介もしてほしい。(歴史など)全国に発信できる。	・企画展示等で小松町も含め西条市を広く紹介するなど、情報の効果的発信を行っていきたくと考えております。
2	○「基本設計(案)施設コンセプトの問題点」 ・「モノ」と「コト」を生み出す多機能施設と謳っているが、「モノ」と「コト」が何を指しているのか、具体的には全く見えてこない。 ・「施設の位置づけと役割」に「Ⅲ.防災拠点として機能」としているものの、3頁に「防災拠点に…被災時に役立つスキル…防災意識を…」との記述と、4頁に「関連諸計画:防災拠点としての活用」とあるだけで、「拠点」としての具体性がなく取ってつけた感しかない。 ・「石鎚山の自然や素晴らしさを内外に伝える発信拠点」としての機能は従前の本施設も有していたハズだが、充分な成果が上がっていたとは言い難い状況下で、同じ轍を踏むことにならない根拠が不明。 ○「基本設計(案)」を実現するための問題点 ・施設コンセプトで「石鎚山ハイウェイオアシス館は生まれ変わります!!」とあるが、一般的に居抜き物件は従前のイメージが残り新入居者の運営は難しいとされている。本「基本設計(案)」では、外装改修の記述を見受けませんが、生まれ変わった中身を外からでも判るようにすべきではないのか。懸垂幕や看板ではワクワク感は生まれにくい。 ・施設・展示概要では多くの基軸が打ち出されているが、ハード以上に重要なソフト面での手だてが示されておらず、この案だけで判断することは不可能ではないか。 ・リニューアルに際し目玉とするのであろう「Media mix SPACE」は、施設の最深部に配置されている。そこまで来館者を誘導する動線は、この案で良いのか。「Lecture SPACE」や「Exhibition SPACE」にも、「Media mix SPACE」への期待感を高揚させる仕組みが必要ではないのか。 ・恒常的な来客数を確保するにはリピーターは必要不可欠である。展示や演出の更新、企画の展開にどう取り組むのが重要ではないか。 ○その他 流入人口増加策としてのスマートICの設置はどうか。	・企画展示や石鎚山のリアルタイム映像、観光・自然・アウトドアを切り口にした様々な「モノ」があり、ワークショップでの体験や三世代交流、また市内や市外のいろいろな人・団体が関わっているという「コト」、すべてを含めて中身の濃いものを次々と展開していく施設にする必要があると考えています。 ・オアシス館は県から大規模災害時における広域防災拠点に選定されており、自衛隊や警察・消防など各機関が集結して、被災地に必要な人や物を送り込むための総合的な進出拠点、より被災地に近い地域で活動するための活動拠点、国や他県等からの支援物資を受け入れ市町へ配送するための物資拠点の役割を担うことになっているため、防災拠点として位置づけています。 ・ハード面の改修だけでは来館者の増加、さらには継続的に集客が図れる施設にはならないと過去の反省からも強く認識しています。つきましては指定管理者制度を導入し、継続的に集客が図れるようなイベント等の開催、また、皆さんに再度立ち寄りたと思わせる施設としていきたいと考えています。 ・居抜き物件ということで難しい面はありますが、限られた予算の中で整備を行いたいと考えています。 ・ご意見を参考にさせていただき、「Media mix SPACE」への期待感を高揚させる仕組みを検討します。 ・スマートICの設置については、前提条件のとおり検討を進めていますが、具体的な方向性は未定です。
3	・一階にあるレストラン・売店は、生まれ変わらないのか。オンリーワンのメニューとか地元産品を誇れる何かがあるほしい。 ・道の駅ようみいきいき館にあるような七輪パーベキューコーナーを作してほしい。海・山・平地とこだわりのある地元の食材を提供し、ここでしか食べれない豊富な食材で食欲をワクワクさせ集客を狙うものにしたらどうか。「食」が無いと集客も収益も望めないと思う。 ・P3サテライトスペースで既設のオートキャンプ場をPRすべきでは?施設の提供だけでなく、「アウトドア」でのダッチオープンや燻製器を使った体験企画イベントを開催してほしい。 ・3階の会議室は、フルに使われているのか。今後の事業展開に工夫が必要。 ・P1②施設への誘引強化は、箱物だけのことしか書かれていないが、積極的なプロモーション・PR活動を今後どのように進めていくのか。 ・P4、3-4軽飲食コーナーの仕掛けづくりに期待するが、1階にあるのに何故2階に必要なのか。 ・管理・運営計画の基本的な考え方は? ・今後の事業スケジュールは?	・一階にあるレストランや売店については、貴重なご意見として入居民間事業者に共有させてさせていただきたく思います。 ・ダッチオープンや燻製器を使った体験企画イベントなどについては、指定管理者により採算性等を考慮した上、ご意見いただきましたオートキャンプ場のみならず、イベント広場や小松中央公園など有効に活用しながら実施できればと考えています。 ・3階の会議室については、貸し会議室として利用いただいておりますが、一層の利用率向上に向け、指定管理者制度を導入し、積極的な誘致を図っていただく予定です。 ・積極的なプロモーション・PR、管理・運営計画については指定管理者により行います。 ・1階レストランと2階カフェについては、前提条件の事情がありすみわけが難しいところですが、食事とまではいかないけれども体験や三世代交流でくつろげるスペースが必要であると考えております。 ・今後の事業スケジュールについては、平成29年度末までに改修を行い、平成30年度中に指定管理者を導入してリニューアルオープンをしたいと考えています。
4	・今回のハイウェイオアシス改修事業案は現在の館の老朽化への対策と有効利用、小松中央公園エリア全体の活用を考慮して良い計画案だと思う。 ・現在のハイウェイオアシスは高速道路及び一般道からの誘導が少しわかりにくいと思う。オアシス館が有効利用できるように又たくさんの車両がハイウェイオアシスに訪れるよう、ETCの出入口ができたらいと思う。スマートICができるとハイウェイオアシスだけではなく、小松中央公園エリア全体が目的地になれると思う。 ・また、現在「小松オアシス」と「石鎚山ハイウェイオアシス」の看板が混在しているが小松中央公園エリア全体を総称する名称に「石鎚山」などを入れて統一すると知名度が増すのではないかと。 ・おあしす市場のテントや設備の老朽化も進んでいる。ハイウェイオアシスに訪れた方にお土産や新鮮な野菜等の買い物を楽しんでもらうために、売り場面積の増床や配置換えも必要だと思う。西条の地産品売り場が狭く、薄暗い感じがあるのでテントに工夫をして明り取りを入れたり、照明を増やして広々とした明るい空間にすることが必要だと思う。 ・それと各施設で連携できることがあると思う。椿温泉のレストラン等ではおあしす市場の地産野菜や農作物を使うとか、おあしす市場では買い物客に入浴割引券を出す等で何度も訪れる施設になる工夫もすればいいと思う。 ・公園前をドッグランにしてもいいと思う。西条市を一望できる景色をもっと知ってもらいたいと思う。	・オアシスへの誘導、表記については、現状、わかりにくい部分が多くあると認識しており、リニューアルオープンにあわせてサイン計画を策定し、対応していきたいと考えています。 ・スマートICの設置については、前提条件のとおり検討を進めていますが、具体的な方向性は未定です。 ・各施設間での連携はご意見のとおり必要であり、関係者が知恵を出し合って、一体的に盛り上げていかなければならないと考えています。 ・ドッグランのアイデアに関しては、ニーズや運営上の問題など考えた上、対応を検討したいと思えます。
5	・もっと人が来るように、メインになるような施設があればいい。例えばワッフルがとてもおいしいカフェとか、夏はふわふわのかき氷とか。 ・その他にも、子供が遊べる室内施設。トラックの運転手さんが仮眠できる部屋。マッサージ室など。	・当市としては前提条件のとおり、リニューアルオープンに際し、指定管理者制度の導入を検討しており、指定管理者募集にあたっては、訪れた方に安らぎを与える、また再度訪れたいと思われる創意工夫を求めていると考えており、その中でカフェメニュー等の充実を目指します。 ・ポルダリングコーナーやワークショップエリアなどを子供が遊べるスペースとして考えています。 ・オアシス館に仮眠室を設ける予定はありませんが、椿交流館のお風呂で汗を流し、休憩していただければ幸いです。
6	・おあしす市場の雨漏りの修理 ・おあしす市場の店じまいの時のカーテンが古くなっているため、シャッターにしてはどうか。 ・野菜や果物等を置く棚を新しくしたいと思う。	・今回はオアシス館のリニューアルに係るパブリックコメントですが、地元野菜など産品をもって西条市を発信しているおあしす市場についても一体感をもった改修を行いたいと考えており、ご指摘いただきました内容について限られた予算の中で検討したいと考えています。
7	・オアシス館には特定の写真家の写真を展示する「石鎚写真美術館」が常設されていた。西条市内には石鎚山や西条の自然などを撮影する写真家、愛好家がたくさんいると思う。リニューアルを機に、もっと幅広い大勢の人が写真展をできるようにすべき。	・今回、「野遊び」をコンセプト案とさせていただいておりますが、西条市は広大な面積、また海拔0mから1,982mを有するといった自然環境豊かな地域であることから、オアシス館を石鎚山に関わらず広く西条市を発信する拠点としたいと考えています。 ・また、現在、西条市・久万高原町・いの町・大川村といった石鎚山系周辺4自治体が連携し、石鎚山系の魅力発信のための事業を行っています。 ・以上のことから、限られたスペース、また指定管理者との協議にはなりますが、創意工夫を凝らした写真展についても検討させていただきたいと思えます。
8	・グレードアップ、小松中央公園の改修(現在、使用不可となっている遊具も多数ある)についてはほぼ賛成である。 ・問題は旧西条市と旧小松町との堺(ローソンのところ)からのアクセス道路の距離が長く、カーブも多いため改修が必要と考える。また、小松中央公園、椿温泉エリアまでの距離も長く、移動のため巡回ミニバス等バリアフリー交通機関が必要と考える。 ・加えて、西条インターは旧西条市でも東端にあること、小松インターは旧小松町でも西寄りにあることから、ハイウェイオアシス周辺にETC・自家用車専用でもよいので簡易ICが求められている。遠方からのみならず西条地域においても集客のため、関係機関と相談し設けるべきだと思う。 ・地滑り地帯とはいえ高台にあるため、南海トラフ地震、伊方原発災害時の防災施設(簡易避難所や医療機関含む)としても活用できるような整備計画も求める。 ・加えて、現在、松山・川内・三島川之江からは高知、徳島、京都、名古屋への高速バスがあるが、西条にはそれらは停車しない。もちろん地元交通業者である瀬戸内運輸が運行してくれることが最もよい(特に今治または新居浜・西条-R194-高知など)が、需要の観点から厳しいと思われる。ハイウェイオアシスにPark and Ride設備を設け、瀬戸内運輸が運行していない地区への高速バスに乗り換える環境(バス停そのものはかつての川之江行き路線バスの名残で存在する)整備していただきたいと思う。 ・また、昨今の社会情勢、火災防止、建物の汚染防止、特に利用増加が求められる子供のため、敷地内は完全に禁煙とすべきと考える。	・アクセス道路の整備や巡回ミニバスについては費用対効果をもって検討したいと思えます。 ・一方でオアシス館までのアクセス、また既存の運動公園とのアクセスについて一体的なサイン計画を策定し、対応していきたいと考えています。 ・スマートICの設置については、前提条件のとおり検討を進めていますが、具体的な方向性は未定です。 ・オアシス館は県から大規模災害時における広域防災拠点に選定されており、自衛隊や警察・消防など各機関が集結して、被災地に必要な人や物を送り込むための総合的な進出拠点、より被災地に近い地域で活動するための活動拠点、国や他県等からの支援物資を受け入れ市町へ配送するための物資拠点の役割を担うことになっているため、防災拠点として位置づけています。 ・オアシス館の一般道利用者用駐車場は、現在でもオアシス館で催しがあるとならば満車になり、おあしす市場を訪れる方が駐車できないこともあります。リニューアル後の駐車スペース確保が課題となっており、ここにPark and Ride設備を設けるのは厳しいと考えますが、貴重なご意見として承ります。 ・現在は館内のみを禁煙にしており、敷地内完全禁煙につきましては貴重なご提言として承り、今後、検討の参考とさせていただきます。

9	<ul style="list-style-type: none"> ・石鎚山に携わる者として、石鎚山の紹介等施設内の設備の充実を図る事は大事だが、見た人、体験した人が、現場(山)に足を運んでみたくなることに注力してほしい。(花の情報、紅葉の情報)画像等極力新しいものに更新できるシステムにしてほしい。(インスタの貼り付け等) ・オアシスと名前が付くので、家族連れが来て、くつろげるスペースを考えられているが、子供が安心、安全で、少々親が目を離しても遊べる遊具スペースをもっと充実させるべきだと思う。最新の物で、他所でうけの良い物を導入されたら良い。 ・目玉が欲しい。(例えば、10円でポンジュースが蛇口から出るとか) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、西条市・久万高原町・いの町・大川村といった石鎚山系周辺の4自治体が連携して、石鎚山系の魅力発信にかかる事業に取り組んでいます。この事業において、いくつかの施設を石鎚誘客の拠点施設として位置づけていますが、当該オアシス館もこの拠点施設の一つとしており、石鎚山のライブ映像など、コスト面、運用面を考えながら、来館者に求められる情報発信体制を整えたいと考えています。 ・遊具についてはコスト面、運用面、安全面を踏まえた対応を検討したいと思います。 ・目玉につきましても指定管理者制度導入とあわせて検討したいと思います。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ひと目でわかる館内全体の案内板 ・千の風(2章)の優秀作品。この3月には3章が出ます。西条市の目玉です。もう少し力を入れた演出ができないか? 展示場所も含めて。 ・「野遊び」広場(防災避難場所周知) 芝生の中に木のテーブルとイスを4〜5カ所設置して欲しい。※サービスエリアの下の方にはオートキャンプ場があるが、椿温泉から離れすぎている。 ・高速道路上下線、西条〜川内間に案内板を出す。寄ってみようかと早めにわかる事が必要。(集客カアップ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オアシス館内の誘導、表記については現状、わかりにくい部分が多くあると認識しており、リニューアルオープンにあわせてサイン計画を策定し、対応していきたいと考えています。 ・西条市を発信していく中で「千の風になったあなたへ贈る手紙」の優秀作品展なども効果的に演出していければと考えています。 ・イベント広場はヘリコプターの発着場所にも指定されており、芝生の中へのテーブル等の設置は難しいと考えています。 ・高速道路への案内板設置については安全性の面などから制約があります。可能かどうか関係機関と協議をしたいと思います。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・おあしす市場に朝・晩、野菜の出し入れをしなくても済むようなスペースがあればいい。 ・商品を陳列している台はしっかりしているので、汚れを落とし、塗料を塗ると良い。 ・台の回りのナイロンを新しくすると見栄えがいい。 ・お客様が何度も足を運んでくれる、心安らぎみんなに親しまれ癒されるオアシス館を希望する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おあしす市場は地元産品の販売を通じ、広く西条市を発信している場としてオアシスにおける重要な役割を担っていると認識しています。 ・おあしす市場の運営自体は民間事業者テナント貸しを行っていることから、スペースの活用、什器等の美化については民間事業者において対応していただきたいところであり、いただいたご意見を当該民間事業者にお伝えさせていただきます。 ・市民のみならず皆様から親しまれる施設とする点については、今回のリニューアルの重要なコンセプトの一つでもあり、実現に向けて整備したいと考えています。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・都会では、寝具や内装にこだわった高級カプセルホテルが大人気だという。高級でなくてもいいから、お四国まわりのお遍路用に活用してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の計画ではオアシス館に宿泊機能を持たせる予定はありませんが、隣接する椿交流館で団体を対象にした宿泊を受け付けています。いただきましたご意見を施設管理者にお伝えさせていただきます。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路利用者に休憩できる楽しみとなるものももっとたくさんあるといいと感じます。温泉まで車で行けるようになってのかわかりませんが、もし駐車場から歩いたら、そのまま行けるようになるのいいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を参考にさせていただきます。 ・高速道路で来られたお客様の車は高速道路専用駐車場から外へは出られないため、そこからは徒歩となります。ご理解願います。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・Media mix SPACEにボルダリングコーナーがあり、子供たちが安全に体験できる施設があるのがよいと思う。このような室内で使える遊具コーナーがあれば、親子で来館しやすいのではないかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード的な整備のみならず、指定管理者制度導入により積極的なイベント等の実施を図ることで親子で来館しやすい施設を目指します。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・エントランスが奥ばっていて入り口がわかりづらく、また固い印象で何か目的がないと入りづらい印象なので、入り口に木製プレートや案内板を多くして、誘引してはどうか。 ・待ち合わせ時に利用したいが閉館が早くて利用できない。18時頃は結構たくさんの方がいるので、もう少し閉館時間の延長を検討してはどうか。 ・公園の遊具を利用して来ている子供連れがテイクアウトできるCAFEを1階にも作ってほしい(2階には上がらない)。入り口に間伐材を利用したテーブルセットも同時に設置すれば、待ち合わせにも利用でき、利用が増えると思う。 ・高速道路から椿温泉を利用する方を見かける。足湯もあり食事もでき、見晴らしも良い。ハイウェイオアシスでもアピールすればいいと思う。 ・館内の売店でも野菜を販売されており、外の売店でも野菜が販売されている。販売する品目の差別化をすれば、館内に足を運ぶ。外の販売の方が一般駐車場から近いので、そこから奥には行かない。 ・ターゲットが明確でないように感じる。高速道路利用者、地元の利用者のどちらがメインか。地元利用者がメインなら駐車場の見直しが必要。歩く距離が長くて、子供連れや高齢者は利用しづらい。 ・館内の売店・レストランの接客に問題がある。何度か利用したが、とても感じが悪くて、もう利用しないと思う。施設も大切だが、接客サービスの向上もあわせて改善しないと利用できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オアシス館内の誘導、表記については現状、わかりにくい部分が多くあると認識しており、リニューアルオープンにあわせてサイン計画を策定し、対応していきたいと考えています。 ・閉館時間やカフェについてのアイデアに関しましては、ニーズや運営上の問題など考えた上、対応を検討したいと思います。 ・小松中央公園内にはオアシス館やおあしす市場、椿交流館のほか、オートキャンプ場やグラウンドゴルフ場などもあり、相互に施設を宣伝して一体的に盛り上げていきたいと考えています。 ・ハイウェイオアシスということで、高速道路上下線用と一般道用の駐車場があるため、ターゲットは絞らず、どちらから来られたお客様にも興味を持ってもらえるような施設の内容・サインを検討します。 ・売店などで不愉快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。入居企業とも連携を図り、接客サービスの向上に努めます。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・オアシス館の印象は少し暗いイメージ。せつかくバックに滝を作ったり、良い物があるので、玄関からもっとしっかり見えるようにしてはどうか。 ・各施設の一体感がないように思う。高速のサービスエリアとともっと緊密に、また運動公園とのアクセスも徒歩でもしっかり行けるという大きな歩道を作るなどしてはどうか。 ・サイクリング、ランニング、ウォーキングロードなど、施設を一体的に使えるようにしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を参考にさせていただきます。 ・大きな歩道の整備については費用対効果について検討したいと思いますが、既存の運動公園とのアクセスについては一体的にサイン表示を見直し、分かりやすくしたいと考えています。また、平成27年度からオアシス館イベント広場や小松中央公園多目的広場を発着地点とするサイクリングイベント「いづち山麓SWEETライド」を開催しており、今後ともオアシス館・椿交流館を含む小松中央公園を一体的に活用していきたいと考えています。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・オアシス館のミュージアムショップにキャンプグッズやぬいぐるみを買に来る人がいるのか。 ・人目に触れないのなら事務室にお金をかける必要はない。 ・ふれあいカウンターは一度見たら、もうそれで終わり、リピーター獲得につながらないと思う。 ・石鎚山体感ジオラマは既存設備だが、照明演出を加えて何かかわるのか。一度見たら終わりではないか。 ・ウォールグラフィックスについて、壁に絵を描いて人が継続的に集まるのか疑問。 ・雲海ステージのころは、もともとたいしたことなかったのに、この際スツバリ止めてはどうか。 ・霊峰石鎚山の紹介でスマホ運動は不要ではないか。ネット検索でもっといろいろ見られる。 ・企画・特別展示室はいろいろ活用できそうではあるが、需要があるのか疑問。 ・ギャラリーアイルについて、名前は格好いいが、結局企画・特別展示室と同じことにならないか。 ・多目的スペースについて、レンタルスペースの需要ってあるのか。 ・Campカフェカウンターと1階飲食店について、どのようにすみわけをおこなうのか。 ・グッズショップについて、専門店に行った方が良いものがたくさん売っている。中途半端になるのではないか。 ・Campサイトはアウトドア用品のショールームみたいだが、最新のものを定期的に入れ替えないと人は来ないと思う。 ・ワークショップエリアについて、体験型講座の需要があるのか。わざわざオアシス館でなくても既存の公民館等でできるのではないか。 ・こんなことをすれば人が来てくれそうという考えだけで進めると、また同じ失敗を繰り返すことになるのではないか。なぜこれまでダメだったのかというところを十分に検討し反省点を踏まえた上で需要の有無も含め、類似施設の客層状況などを調査し進めるべきだと思う。 ・本当にこの案でリピーターが期待できるのか。一度見たら気が済むようなものがあるが、何度でも来たいようなものでないダメだと思う。これなら人が集まる、帰省時等にSAを通過して立ち寄りしてくれる、そういうものにしたいと思わないか。この案では実現できるとは思えない。 ・この施設が防災拠点であるとされているが椿交流館の間違いないか。 ・窓が少ない建物内でアウトドアを表現するのは難しいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムショップはサービスエリアとの差別化を意識し、来館者が興味を持つようなものを置こうと考えています。 ・事務室の人目に触れない部分は、必要以上に経費をかけないようにします。 ・レクチャースペースは、市民はもとより初めて西条市を訪れる方に石鎚を感じてもらい、リピーターも獲得できるよう、費用面を十分に考慮して整備したいと考えています。 ・スマホ運動は、当館を訪れ石鎚山に興味を持ってくれた方が、その場で調べられるための環境整備です。 ・企画・特別展示室やギャラリーアイルは、石鎚をはじめとする西条市の観光情報のほか、市の様々な取り組みについて情報発信する場として活用したいと考えています。 ・今回設置する多目的スペースについては、3階の会議室と異なり、形式張らない、自由な雰囲気でのワークショップやセミナーなどで活用いただきたいと考えています。 ・1階レストランと2階カフェについては、前提条件の事情がありすみわけが難しいところですが、食事とまではいかないけれども休憩や三世代交流でくつろげるスペースが必要であると考えています。 ・グッズショップやCampサイトについてはおっしゃるとおりであり、このあたりの更新はまさに誘客にも影響してくると思われることから、指定管理者とともに十分な対応を検討したいと考えています。 ・ワークショップエリアには、木育など小さなお子さんが遊べるものも設置するとともに、指定管理者制度導入により積極的なイベント企画等展開し、天候に関わらず三世代が楽しめるスペースにするよう対応していきたいと考えています。 ・ハード面の改修だけでは来館者の増加、さらには継続的に集客が図れる施設にはならないと過去の反省からも強く認識しています。つきましては指定管理者制度を導入し、継続的に集客が図れるようなイベント等の開催、また、皆さんに再度立ち寄りたいと思わせる施設としていきたいと考えています。 ・オアシス館は県から大規模災害時における広域防災拠点に選定されており、自衛隊や警察・消防など各機関が集結して、被災地に必要な人や物を送り込むための総合的な進出拠点、より被災地に近い地域で活動するための活動拠点、国や他県等からの支援物資を受け入れ市町へ配送するための物資拠点の役割を担うことになっているため、防災拠点として位置づけています。 ・現状、2階の窓はほとんど塞いでいます。今回の改修では窓から光を取り込み、天井や床も模様替えを施しアウトドアを表現しようと考えています。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・一般道から上り・下りのSAに行く道や、ドッグランの場所が分かりづらいので、看板を設置して欲しい。 ・一般道からおあしす市場の駐車場を利用するお客さんで、夜、キャンピングカー等で車中泊する時など、トイレが遠いので、一般の駐車場の近くにもトイレを設置して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オアシスへの誘導、表記については、わかりにくい部分が多くあると認識しており、リニューアルオープンにあわせて、サイン計画を策定し、対応していきたいと考えています。 ・トイレの新規整備につきましては、費用対効果について検討したいと思います。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアをコンセプトとしているのだが、できればその中に自転車関係の物を含めてはどうかと思う。愛媛県では、県を挙げて自転車の導入に力を入れており、実際、自転車を愛好する人口も増えてきている。ハイウェイオアシス館は道の駅にも指定されていることから、サイクリングコースの拠点・休憩地点として周知し多くの人に立ち寄ってもらえれば良いのではないかと。椿交流館とも連携し、足湯や温泉、食事も合わせて周知していければ良いと思う。 ・館内にあるショップにおいても自転車用品を揃えておくことにより、立ち寄っていただいたサイクリストに館内まで誘導しやすくなると思う。定期的ではあるが自転車のイベントを開催しているので、イベントに参加してもらった人が誘導し不足したものをショップで買い揃えることができると思う。 ・レンタルサイクルを整備し、キャンプに来られた人や車で立ち寄った人に貸し出しをすれば、より自転車のイメージの強調になるのではないかと。あと出来れば、観光交流センターでレンタルサイクルをしているので、相互での貸し出しができれば、サイクリングコースの充実やより多くの需要が見込めるのではないかと。より多くの人が集まっていたら、活気のある場所にしていただければ良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングの件については、鋭意検討したいと考えています。平成27年度から実施している当市サイクリングイベント「いづち山麓sweetライド」の発着地点がハイウェイオアシスになっているなど、今後もサイクリングの拠点となるよう考えたいと思います。 ・ただショップ等については、今後の運営方針、指定管理者制度導入も考慮しながらの対応となることをご理解ください。

20	<ul style="list-style-type: none"> ・ハコ物をリニューアルしても、それだけでは継続的な集客は難しいと思う。設計等に関しては特に意見はないが、集客が可能な店舗を誘致することやアクセスの仕方を変えることも含めて多角的に集客について考えるべきだと思う。例えば、スマートインターチェンジの設置、また農協等が経営している産直市場の支店を作るような方法が可能であれば、ある程度の集客は計算出来るのではないかと思う。 ・それに加え付近の地元市民が使いやすくなれば、活用の幅は広がらないと思う。ハイウェイオアシスを国道196号線方向に下りたところは農用地(青地)が広がっており、事業所はもちろん個人用住宅の建設をすることもできない。国営の土地改良事業を実施した関係上、青地の除外が出来ない状況であり、近隣にある老健施設は駐車場を拡張できず利用者も不便を感じている。 ・また、地元金融機関などがこの辺りに進出できれば別の事業者も続く可能性があり、個人用住宅も増え、固定的な利用者は必ず増えてくるはずである。次の農用地見直し時には、その辺を見越した地ならしは可能だと思うので、オアシス館の改修だけではなく集客施策の検討を是非とも並行して考えて頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード面の改修だけでは来館者の増加、さらには継続的に集客が図れる施設にはならないと過去の反省からも強く認識しています。つきましては指定管理者制度を導入し、継続的に集客が図れるようなイベント等の開催、また、皆さんに再度立ち寄りたいと思わせる施設としていきたいと考えています。 ・産直市場については前提条件のとおり当市が民間事業者に対し、テナントとして貸し付けていることから、ご意見を反映できないことをご了承いただきたいと思います。 ・スマートICの設置については、前提条件のとおり検討を進めていますが、具体的な方向性は未定です。 ・農用地については、農業振興地域制度の中で調整が図られることとなりますが、貴重なご意見として承ります。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・石鎚山ハイウェイオアシス館の利用者が減っていることから、環境改善の方向性における施設経年劣化への対策、施設への誘引強化、展示・集客機能の再構築及びアメニティの改善については、賛成である。 ・トイレは乳母車が入るトイレ、おむつ台のあるトイレ、又は子どもと一緒に入ることができるトイレなど限られたスペースの中で工夫したトイレを設置してほしい。 ・2階カフェの近辺には、靴を脱いで三世代がゆっくりくつろぐことのできるスペースがあれば望ましい。 ・付加価値を出すためにレンタサイクルを置き、市の観光施設のどこにおいても利用できるシステムを構築してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・従前より来館者の皆様からトイレの改善について多くご意見いただいており、今回のリニューアルにおいて、限られたスペース、また予算の中で、来館者の皆様にご満足いただけるトイレ整備も行いたいと考えています。 ・三世代がくつろげるという点については、今回のリニューアルの重要なコンセプトの一つでもあるため、オープン後のメンテナンス性、管理の問題など勘案し、整備したいと考えています。 ・レンタサイクルのアイデアに関しては、ニーズや運営上の問題など考えた上、対応を検討したいと思えます。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路で移動するサービスエリアに位置するハイウェイオアシスならではのメリットを活かす。 ・なるべく長時間滞在してもらい、樫交流館への立ち寄りを目指す。 ・以上2点を考慮すると、多目的スペースを90席程度まで広げ、「オアシスプレミアムホール」などというリッチ感のある名前などにし、小規模な講演会や演奏会を開けることができるようにすればどうだろうか。松山へ移動途中の著名人などに1時間、1時間の講演など。また、この広さだと災害時での指揮員たちのコントロールスペースや、被災した方の一時治療室、休憩室になり得る。緊急時には芝生のところへドクターヘリが降りられる。 ・雲海ステージの強化ガラスステージは、実際の自然の景色になってほしい。でなければリアルなすごさは伝わらないのに費用だけが高いことにならないだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おっしゃられるような長時間滞在いただくため、樫交流館など周辺施設も絡め、誘客につながる積極的なイベント等の開催を指定管理者制度導入し、取り組んでいきたいと考えています。 ・当館3階には、100名弱程度収容できる大ホールのほか、中小規模の会議室があり、ご提案の講演会等については、こちらをご活用いただきたいと思います。 ・一方で、今回設置する多目的スペースについては、これら会議室などと異なり、形式張らない、自由な雰囲気でのワークショップやセミナーなどで活用いただきたいと思います。 ・雲海ステージについては、過去の問題点を分析したうえで費用面を十分に考慮した上、整備したいと考えています。